

新宮山彦ぐるーぷ第2100回

不動峠地藏堂再建資材の荷揚協力

◇実施日…2020年10月18日(日) 晴

◇参加者…沖崎吉信、濱野兼吉、生熊千満子、中前偉、山川治雄・
自知、畑林秀味、上村洋司・和美、梶野照雄、志岐敬
山本直子

12名

不動トンネルのほぼ真上に位置する不動峠は奈良県下北山村と和歌山県北山村を繋ぐ海拔606mの県境尾根の峠である。

現在の不動トンネルと同じく、大和と熊野を結ぶ東熊野街道の最短の脇街道として古くから利用されてきた。紀州から京・大阪への近道として峠越で物資の運搬が行われる生活道路としての役割を担っていた。

江戸時代の初め、慶長19年(1614年)大和北山側からの百姓一揆勢が新宮城の対岸まで攻め入ったが、反撃にあい多くの犠牲者を出し敗退した記録が残っている。この時も不動峠を越えた。一揆の主導者の一人であった前鬼・五鬼継さんのご先祖も峠を越えて往復、大和側の戻った後、行仙宿上の継の窟に隠れたようだ。峠を越えての婚姻関係も多く、南北の両地区から花嫁たちが互いに行きかう、いわば「嫁越峠」でもあった。また、林業の発展と共に筏師たちの往来が増えた。峠には茶店もあって繁盛したそうだ。

不動峠に鎮座する「地藏堂」はその中に丸みを帯びた大きな自然

石があり、表に「法華供養塔」裏側に「明和九年六月二日桑原村」と刻まれた本尊が祭られている。(明和九年 1772年)
建立されてから約250年経つが、その間2度に渡ってお堂は建替えられている。



予定の説明

資材集積場に到着

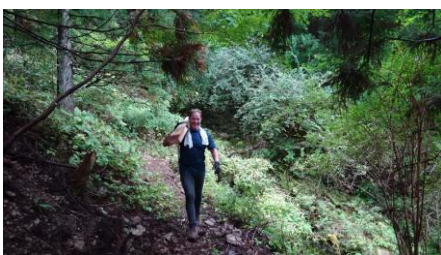
一回目の荷揚

平成23年1月2日、山彦新春登山で不動峠経由、禅舎の倉に登った時、初めて地藏堂を目にした。柱の腐食が進み、後方に大きく傾いて倒壊寸前の状態だった。心が痛むが我々ではどうしようもなく、地区の皆さんで何とかならんか、どうにかするべきでは?と思っただけの記憶がある。

それから8年近くが経った平成30年11月に不動峠地藏堂修復保存会が発足し、当ぐるーぷ宛に「協力願いたい」旨の案内が届いた。その後、資金集めなどで色々ご苦労されたようである。

今年の夏に事務局長の山本さんから電話があつて「10月18日に資材荷揚げ、11月15日に落慶記念式典の日程を決定した。是

非ご協力を頂きました」とのことだった。落慶式に護摩供養を行いたいのので、行者さんのお世話もお願いしたいとも要請され、後日中前君経由で柴田さんをお願いし、快くお引き受けいただいた。



不動峠に到着

40 kgの石板

石板を運んだ外国人

荷揚げ当日、12名の参加者が朝9時に役場駐車場に集合。柴田さん、役場の和田君、下北山しもまるの福岡さんに岡室進さんの顔も見える。総勢32人とのことだった。登山口近くまで車で移動、山本さんから注意事項などの説明があった。

軽トラック2台分の柱、板、銅板などをモノレールの中間地点から不動峠までを2往復の見込み、とのことだった。モノレールでの荷揚は前日、17日の予定だったが、雨の予報が出たので急遽早めて16日に行ったそうだ。

登山口を出発して一時間弱でモノレールに合流、いよいよ荷揚げだ。それぞれが体力に応じた資材を肩にして峠まで登る。最重量物は40 kgの石板で、村に住んでいるという外国人男性が一人で担ぎ上げ

た。約30分で峠着。前回下見に訪れた際に、道の崩れなど3〜4ヶ所気になるところがあったが、安全に通過できるように修復されていた。また、モノレールから峠までは等高線を辿るような山道で、急な登りが殆ど無いのが有難い。



二回目の荷揚

少しだけ残った

昼食風景

一回目の荷揚げの後、昼食の予定だったが二回目を終えてからとなりモノレール横の資材集積場まで戻る。私は後ろの方だったが、最後に降りた梶野君によると、あと3人分くらいの荷物が残っているそうで、3回目が必要なようだった。

2回目の荷物を持って峠に戻り昼食を摂る。保存会の山本さんから残りの荷物の荷揚要請があるが、すぐに手を挙げる人はいない。そんな中、山川さんと自知君が小走りに下り始めた。その後を村の若者数人が続く。一往復一時間と思っていたが、お二人とも肩に荷物を担いで40分位で戻ってきた。ご苦労様でした。

全ての資材が荷揚され、トラブルも無く作業終了、保存会の山本さんも安堵の表情でお礼の言葉を述べられた。



全員で記念写真



運び上げた資材にシート



下山

距離は短いが久しぶりに大量の資材荷揚だった。奈良から参加してくださった志岐さん、山本さんは初体験だったろうし、ご協力頂いたすべての皆さん、ご苦勞様でした。11月15日の落慶記念式典にもご参加をお願いしたい。

(記；沖崎 写真；梶野)

行動タイム

登山口 09：20→10：13資材集積場→11：00不動峠13：15→14：10
登山口